

◆ニックネーム・グループ名（人数）

こんちゃ。

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 田原をよりクリーンに！

活動の動機 私は観光客が増えてきたことから、過ごしやすく、印象の良い街づくりをしたいと思い、また水中の生き物の住みやすい海にしたいと思い、この活動を選んだ。



活動実施日

20220825

目指すSDGsゴール

14 海の豊かさを守ろう

解決したい地域の課題

危ないゴミも落ちており、危険であること。ゴミを海にしていることでウミガメやその他の水中の生き物に悪影響を及ぼしているということ。

目指す将来の姿

私はゴミ拾い活動を実践することで11番「住み続けられるまちづくりを」、14番「海の豊かさを守ろう」を達成することができる。

活動の内容

私はまず海や海に行くまでの道のゴミを拾い、その後写真を撮りその写真を家族や友人に見せ、ポイ捨ての多さや海の汚さを伝えた。海にも道にもコンビニのゴミやペットボトルが特に多かった。花火のゴミや飲みかけのペットボトル、紙コップ、紙皿など何かの片付けをしていない人が多いということもわかった。ゴミ拾いを通して地域の方とも交流でき、とても良い活動だった。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ぶどう

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 空き瓶・ペットボトルで1つ上のオシャレ

活動の動機

空き瓶はインテリアとして使えると思ったからです。デザイン性がとても良く部屋に置いておくと明るくなると思ったからです。ペットボトルはだれの家にもあり、ゴミとして捨てられないようにしたいと感じたからです。



活動実施日

20220812

目指すSDGsゴール

15 陸の豊かさを守ろう

解決したい地域の課題

アートの物が少なく風景が寂しい。道に落ちている瓶は割れると危険であり無くさなければいけない。ペットボトルが落ちているだけで清潔感が無いので道に捨てられているペットボトルをゼロに近づけたい。

目指す将来の姿

空き瓶・ペットボトルを使って1つレベルの上だったオシャレを。そして、リサイクルの大切さを知り3Rを自分から心がけ行動するように。空き瓶・ペットボトルがゴミ箱以外で発見されることの無いようにしたいです。

活動の内容

【花瓶】1自分の気に入った空き瓶を見つける2見つけた空き瓶に自分で折り紙やシールでデコレーションする。3瓶の装飾が完成したら花を中に入れる（ドライフラワーでも生花でも良い）→完成 花瓶として使うだけでなく瓶単体を置くのもインテリアになります。【ペットボトルビーズ】1ペットボトルを縦長に切る2油性ペンで好きな模様を描く3「1cm×2.5cm」に切る4レンジでペットボトルを加熱5ひもを通す→完成

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ペンギン

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 小さな努力の積み重ね

活動の動機 たった一つの小さな工夫でもそれを多くの人が続けていくということで環境がよりよくなっていくと思ったから。



活動実施日

20220820

目指すSDGsゴール

14 海の豊かさを守ろう

解決したい地域の課題

ゴミが増えているということで二酸化炭素が発生し、気候変動を引き起こしたり地球に住む動植物などの被害にあう地球温暖化につながってしまうところ。

目指す将来の姿

経済の発展に力を入れすぎるのではなく、環境も大切にし、将来の世代につなげていける。過ごしやすい環境で、子どもから大人まで全ての人が安全に生活できる社会。動植物と共に歩むことができ、暮らしやすい社会。

活動の内容

無駄な物を使わない、必要のないことをしないように心がける。例えば、買い物に行く時に毎回レジ袋をもらうのではなく、エコバックをもっていく。また、喉がかわいた時に自動販売機などでペットボトルの飲み物を買うのではなく、マイボトルを持ち歩くようにする。このようにプラスチックを使う回数を減らすことで地球温暖化の防止はもちろん、海の動物の被害を減らすこともできる。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

アロワナ

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 海を守る

活動の動機

SDGsの14番目の目標海の豊かさを守るうについて調べたとき、ウミガメがビニールを食べている写真やサンゴの白化の写真を見て人間の行動により、様々な生き物に影響を与えていると知り、助けたいと思ったから



活動実施日

20220724

目指すSDGsゴール

14 海の豊かさを守ろう

解決したい地域の課題

1億5000万トンのゴミが海にあり、1分にゴミ収集車1台分のペースでゴミの量が増え続けてしまっていること

目指す将来の姿

ゴミが生態系に与える影響を世界中の人々が理解し、これ以上ゴミが増加するのを防ぎ、各国がゴミの回収をして、以前の海のようにすること

活動の内容

実際に海に行き、海中にあるプラスチックのゴミ（ビニール袋など）や空き缶や釣りのルアー、糸、釣り針などを回収する。海中にある岩などに根掛かりしたルアーを可能ならば糸、針と一緒に回収する。不可能な場合100円ショップのハサミで少しずつ切りながら回収する。漁港に浮いている小さなプラスチックの破片を約4、5mの網を使い回収する。ルアーは再利用することができ、活動の継続につながると思い選択しました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

マリモ

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 私たちが作る未来

活動の動機

最近では、農村部からの移住が増えてきて人口の半数が都市部に住んでいることが問題になっているため、農村部と都市部で発展の差がどのくらいあるのかを知りたいと思ったからです。



活動実施日

20220801

目指すSDGsゴール

11 住み続けられるまちづくりを

解決したい地域の課題

私が住んでいる校区と私のおばあちゃんが住んでいる校区を見た時に、例として、コンビニの店舗数に大きな差があったため、その農村部と都市部の発展の差が課題である。

目指す将来の姿

農村部でも都市部と同じように、住みやすい環境を作る事です。日本だけでなく、世界でも見ると、スラムなどの問題があり、その問題を解決し、全員が不自由なく、生活出来るようにすることです。

活動の内容

この活動の内容は、愛知県の市町村別で、コンビニの店舗数を調べました。1位は 豊田市の212店舗、2位は 岡崎市の166店舗、3位は 名古屋市中区の164店舗でした。「市」の最下位は岩倉市の17店舗でした。愛知県の中でも差があります。私の住んでいる校区は、17店舗、おばあちゃんが住んでいる校区は5店舗でした。面積の大きさはあるが、少しでも発展の差があると分かります。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

パンダ

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 海のゴミを減らそう

活動の動機 海に行くと、たくさんのゴミが落ちていて、ゴミは海の生き物にとって危険です。なので、活動しようと思いました。



活動実施日

20220820

目指すSDGsゴール

14 海の豊かさを守ろう

解決したい地域の課題

このままプラスチックゴミを増やしていくと海の生き物が危険になってしまうこと。3Rを意識して生活していくこと。

目指す将来の姿

海にはプラスチックごみが多いです。なので、エコバッグやマイボトルを使う人が増える世の中にしていきたい。

活動の内容

外に出る時には、エコバッグやマイボトルなど自分の物を持つ様にすることや、買い物をする時には紙包装されているお菓子を買うことなどの、身近で気をつけたら出来そうな活動をしました。部活の時に水筒を持ってく時にも、活動時間に合わせて大きさを変えたりして、自動販売機でペットボトルを買わないようにしました。シャンプーや洗剤などは、詰め替え用を買い容器を再利用しました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

シロクマ

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 豊橋の海の実態

活動の動機

以前に海洋プラスチックについての本を読んだ時に、海に流れたプラスチックが魚を通して私たちの体に入っていることを知りました。海に打ち上げられたごみがまた流されないように、回収しようと思いました。



活動実施日

20220827

目指すSDGsゴール

14 海の豊かさを守ろう

解決したい地域の課題

日本のみならず、海外からもプラスチックごみが流れ着いています。それがまた流されて、マイクロプラスチックになります。これが海の生態系に大きな影響を及ぼし、私たちの体に害を与える引き金となるのです。

目指す将来の姿

プラスチックごみが大量に流れ着いている海をきれいにすることで、プラスチックごみが再び海に流されることを防ぎたいです。そうすることで、マイクロプラスチックによる海洋生物の被害が減らせたいと思っています。

活動の内容

豊橋市にある海岸に行き、プラスチックごみを拾いました。遠くからではよく見えなかったけど、近くに行ってみると、たくさんのプラスチックごみが落ちていました。拾ったプラスチックごみを集めてみたときに想像を超える量があって驚きました。また、その中には韓国語で書かれたペットボトルがありました。これを見て、外国から豊橋に流れ着くものが本当にあるんだなと思い、海洋プラスチックは世界問題だと改めて思いました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

KT

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 家庭用生ごみのリサイクル

活動の動機

家庭菜園用に使用している肥料を購入するのではなく、自宅の生ごみから作ればごみの削減と節約につながると考えたため。



活動実施日

20220810

目指すSDGsゴール

12 つくる責任つかう責任

解決したい地域の課題

生ごみの削減・リサイクルにより、ごみ収集車の排気ガスやごみを燃やすときに出る二酸化炭素排出量を抑制すること

目指す将来の姿

生ごみを廃棄するのではなく、肥料に変えて、その肥料を使って野菜や果物を作るというリサイクルを、各家庭の誰でも気軽にできる状態にすること。またリサイクル活動により、地域全体の環境意識の向上を目指す。

活動の内容

毎日発生する生ごみをコンポストに入れ、ぼかしを使って堆肥にし、それを自宅の畑に撒き、野菜の栽培に活用する。

自宅で採れた野菜から発生する生ごみを同様にリサイクルすることで、資源の循環を定着化する。この取り組みをまとめ、まずは近所の方々に紹介することで、コンポストを利用した家庭用生ごみのリサイクル活動を普及させ、環境意識を高めていきたい。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

りの

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 無駄なく料理をしよう

活動の動機 食品ロスは飲食店だけでなく家庭でも結構起きていることを知り、食べれるのに捨ててしまっているものをなんとかしたいと考えたから。



活動実施日

20220826

目指すSDGsゴール

12 つくる責任つかう責任

解決したい地域の課題

食べ残しを捨てずにアレンジして2度美味しく食べれるようにしたい。
生ごみの量を減らす。

目指す将来の姿

家庭での食品ロスの割合は全体の47%を占めていてかなり高いので、家庭から出る生ごみの量を減らしてこの割合を少なくしていきたい。
SDGs目標12では2030年度までに食品ロスを半減させることになっているのでそこを目指していきたいです。

活動の内容

前日に夕食で残った肉じゃがをカレーに、ポテトサラダをオムレツに変えた。どちらも簡単につくれるし、味も美味しかった。
調理する時に捨てているにんじんの皮と大根の皮できんぴらをつくった。皮は少し硬めだが千切りにすることで問題なく食べることができた。じゃがいもの皮は鏡を磨くのに重宝していてピカピカになった。くもり止めの効果もあった。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

あお

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 食品ロスを減らそう

活動の動機

テレビを通して、食べられるのに廃棄されてしまう食材や商品がたくさんあると知ったので、少しでも削減するためにはどうしたら良いかと思い、この活動を選びました。



活動実施日

20220818

目指すSDGsゴール

12 つくる責任つかう責任

解決したい地域の課題

廃棄物が増加すると、運搬するときや焼却するときに多くの化石燃料を使うため、環境破壊につながります。なので食品ロスを削減する必要があると思います。

目指す将来の姿

一人一人が日々の生活の中で買いすぎ、作りすぎ、注文しすぎを防ぐことで、12番のつくる責任つかう責任を達成できると思います。そして、食品ロスを減らすことで環境破壊の問題の解決にもつながると思います。

活動の内容

食品ロス削減のために、ある地域では「フードドライブ」という活動を行なっています。「フードドライブ」とは、家庭で余っている食品を持ち寄り、フードバンク団体等を通じて福祉団体や施設に提供することです。また、ある企業では一般的な流通のサイズに合わないが、品質には問題のない規格外の野菜や果物・賞味期限の近い商品などを低価格で販売するなどの活動を行なっています。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

じょん

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 海の生物のために私たちができること3R！

活動の動機

水族館に行った際マイクロプラスチック問題についてポスターを見ました。私たちの生活から出るプラスチックゴミが海の生き物の命を奪っていることを知り自分にできることはないかと考え、活動をしようと思いました。



活動実施日

20220811

目指すSDGsゴール

14 海の豊かさを守ろう

解決したい地域の課題

環境汚染は一人一人が気をつけないければ改善されないと考えます。なのでポイ捨てを減らして、リサイクルボックスを多くの人が活用する地域にしていきたいです。

目指す将来の姿

必要以上にプラスチックを使うことを避けていきたいです。川に捨てられたペットボトルなどのプラスチックゴミが海に流れて行って、生き物の命を奪っているのをポイ捨てをしないように全ての人が気をつける社会になっていくといいです。

活動の内容

3R(リデュース、リユース、リサイクル)を自宅にあるプラスチックで行いました。リデュースはコンビニやスーパーでビニール袋をもらわないようエコバックを持っていくことを意識してプラスチックごみの原因となるものを使わないようにしました。リユースはシャンプー、リンス、洗剤が終わった時にその容器を捨てず、詰め替えをすることでプラスチックごみを減らしました。リサイクルは近所の回収ボックスまで持って行きました。

◆ニックネーム・グループ名 (人数)

マシュマロ

(1人)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 食材を無駄なく使おう!!

活動の動機

料理する時に使う野菜の皮など毎回捨てるのが勿体なく思いもう1品作れたらいいと思うから。また、廃棄率の勉強をしたり、茎のある野菜も茎に沢山栄養があると聞いたことがあるので利用したいと思ったから。



活動実施日

20220718

目指すSDGsゴール

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

解決したい地域の課題

廃棄量が多いので少しでも減らせるようにする。
また摂取できるエネルギーが少なくなるため健康でなくなるから摂取するようにする。

目指す将来の姿

無駄なく食材を使って栄養を沢山体にとりいれて、健康に過ごせるように目指していく。
また廃棄量をできるだけ少なくし、環境のことを考えクリーンな世界を維持できるように目指していく。

活動の内容

普通の料理と皮を使った料理を作り味、見た目などを比べる。人参の皮を使ったきんぴらごぼう、かぼちゃの皮を使ったかきあげ。
きんぴらごぼうでは味は変わらず人参の皮によって色が濃くなった。
かき揚げでは味も見た目も変わらない。次に家族に何も言わずに食べてもらう。味は変わっていないが食感がシャキシャキになったと言っていた。その後、ネタばらししたら、やっぱり食感が変わるが味などには問題ないと言っていた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

B.T

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル

障がいを持った友達との関わり

活動の動機

自閉症スペクトラムの弟が支援級から通常級へ移籍することになり弟が不安なくクラスへ入り、また、周りの子たちにも関わり方を伝えたくてこの活動を選びました。



活動実施日

20220721

目指すSDGsゴール

3 すべての人に健康と福祉を

解決したい地域の課題

障がいを持った人が特別なことではなく、自分達の地域にもさまざまな障がいや特性を持った子どもが生活していることを知り、理解してもらうこと。

目指す将来の姿

弟が努力することと、僕達家族が学校にサポート方法を伝えることにより、弟本人も周りの友達もお互いに「3. すべての人に健康と福祉を」を達成することができる。また、障がいや特性を持った人が自分たちの周りになっていることが、普通であり、当たり前であると皆が共通理解されること。

活動の内容

夏休み期間中、弟と一緒に過ごす時間を長くもつことができました。その間、地域のラジオ体操への参加や旅行など、定型発達の同年の子とも触れ合う姿も見ることができ、問題はコミュニケーション能力の低さと特性が出た時の対応の大きく2つだと把握できました。問題点が分かったことで次に解決法を今までの家族の対応方法からヒントを得て同学年の子どもでもできるようにかみくだき伝えやすくまとめています。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

にわとり侍

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 私達の周りにある当たり前の物を大切に

活動の動機

私の家は食品を買って放置してしまい消費期限・賞味期限が切れて廃棄することが多く、またティッシュや石けんなどの生活用品を一日に使いすぎてしまうから。



活動実施日

20220820

目指すSDGsゴール

12 つくる責任つかう責任

解決したい地域の課題

家庭で缶やペットボトル、新聞紙の分別をしっかりとしたり食品の食べ残しを無くすように意識して地域全体のごみの減量を目指していく。

目指す将来の姿

食べきれない量の食品を買すぎないようにしたり、食品を卓上に放置して腐らせないようにしたり、ティッシュを一気に複数枚出すのではなく1枚1枚出して必要以上に使わないようにすることで12番目の目標を達成できるようにしました。

活動の内容

卓上に食品が置いてあったら冷蔵庫にしまうようにする。一日に何度も手洗い石けんを使うことが無いように手が汚れることを複数回した後で洗う。食品を買う時は、消費期限・賞味期限が長い物を買うようにする。地域のごみを減らすためにもお店の閉店ギリギリで安く売られている惣菜を買ってその日に食べることで食品ロスを防ぐようにする。定期的に食品の消費期限・賞味期限が切れていないか確認する。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

桜木花道

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 海の砂浜の清掃活動をしました。

活動の動機

SDGsについて調べてみた結果ゴミのせいで海の生き物達が減っていてこのままではなくなってしまおうそうです。なのでそれを防ぐため自分には何が出来るのか考えて思いついたのが清掃活動でした。



活動実施日

20220813

目指すSDGsゴール

14 海の豊かさを守ろう

解決したい地域の課題

陸から風に吹かれて海にゴミが入ってしまうので、砂浜のゴミを減らす事が1番の課題です。そして今回だけでなく、次の活動にも繋げられるように次は何ができるのかを探すのも課題です。

目指す将来の姿

目指すのはゴミ1つもないきれいな砂浜ですが、それを実現させるのはとっても難しい事だと思います。なので一人一人の意識でゴミを減らして、海の生き物達が暮らしやすいような環境になっていけば良いなと思っています。そしてこの活動を通して心も綺麗になって欲しいです。

活動の内容

朝6時ごろ表浜海岸へ行って清掃活動をしました。思っていたよりゴミがたくさん落ちていました。プラスチックコップや花火の燃えカスなど遊んだ形跡が残っていました。他にはビニール袋がたくさん落ちていて、これをウミガメが食べてしまうと考えるととても可哀想だなと思いました。6人で活動しましたが50m掃除するのに30分かかってしまいました。これからも時間がある時は清掃活動をしたいなと思います。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

なつたく

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル 家族単位での男女平等を目指して

活動の動機 私は、男女の家事分担が、半々ではないことをきっかけに身近である家庭の家事を見直そうと思ったから。



活動実施日

20220810

目指すSDGsゴール

5 ジェンダー平等を実現しよう

解決したい地域の課題

家庭での男女平等を実現し、人々が協力し合って生きている精神をつけること。

目指す将来の姿

男女の家事分担を理想的な5:5にすれば5番ジェンダー平等を実現しようを達成することができる。

活動の内容

ホームプロジェクト前の家事分担は男性2、3割、女性7、8割でした。ここで、家事について見直してみたところ、大きく約13個に分けることができました。なので家族と話し合って、私、父、母がそれぞれ別々の4、5個の家事をする事で、理想的な男女の家事分担である5:5を実現することができた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

hira

（ 1人 ）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生・大学生SDGsアクション

タイトル なすを育て、近所の人と交流を深める

活動の動機

SNS以外のコミュニケーションは人と話すこと。毎年夏野菜を家で育てているが、今回は作りやすいなすを多く作る。収穫したなすを近所の人に配ることで会話が生まれ、コミュニケーションがとれると思ったから。



活動実施日

20220510

目指すSDGsゴール

12 つくる責任つかう責任

解決したい地域の課題

SNSをしない人とコミュニケーションをとるのは、話すこと。自分の育てたなすをおすそ分けする事で喜んでもらえたり、話をするきっかけとなり、コミュニケーションが密になり、信頼関係が築ける。

目指す将来の姿

実際に野菜を作ってみることでつくることの大変さと消費者としての自覚を持つことの大切さを学ぶことが出来る。一人一人が食品ロスについて理解を深めれば無駄に捨てずに済むと思う。また、地球の資源には限りがあるので生産者は環境に悪影響を与えないようにすれば地球を守ることができると思う。

活動の内容

5月10日なす苗を植え育てる。堆肥をまいて畝をたて、畝に黒マルチをかける。株間60センチで植え付ける。一番花が咲いたら、株を充実させるために整枝する。なすは次々と収穫するので追肥と水かけは欠かさずする。7月中旬、長さ12センチ位になったら収穫。たくさん収穫でき、近所の人におすそ分けする。なすのお礼にピーマンミョウガをもらう。野菜作りの知らなかったことや、緑色や白色のなすがあることを教えてもらった。